

# 令和5年度学校自己評価システムシート (県立所沢高等学校)

目指す学校像	多様な生徒一人一人に相応し、社会的自立を促す親身あふれる温かい教育
--------	-----------------------------------

重点目標	1 授業を大切にし、学習意欲を向上させ、基礎学力を定着させる 2 家庭や地域との連携を強め、教育活動を一層充実させる 3 学校行事等の多様な学びの機会を通じて、社会人として自立できる力を育成する
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<b>【現状】</b> 英検準1級に合格して大学進学を目指す生徒もいれば、中学校初歩段階の学力が定着していない生徒もおり、学力の差が大きい。また、日本語を母語としない生徒も12名と増加している。 <b>【課題】</b> 個々の学力に応じた課題を与え、目標を持って学習に取り組ませるとともに、日本語を母語としない生徒の日本語理解度を高めることが求められる。	個々の目標達成に向けて主体的に学ぶ生徒の育成	①生徒一人一人の学力や理解度を把握し、個々に適切な目標を持たせるとともに、その達成に向けてきめ細かな指導を実施する。 ②個々の生徒に適した教材を提供することによって興味・関心を高め、家庭学習を含めて見通しを持った学習に取り組ませる。 ③日本語を母語としない生徒への日本語指導を始業前に週4日実施する。	①②生徒の授業満足度 ①②主体的に授業に取り組む生徒の割合 ①②日常的に家庭学習を行う生徒の割合 ①②各学期の欠点保有者数 ③日本語指導の実施状況 ③外部人材の活用状況			
2	<b>現状</b> 様々な理由で中学校までに不登校を経験した生徒が多いが、高校入学後も体調不良以外の理由で登校できない生徒が少なからずいる。 <b>課題</b> 生徒の抱える課題を把握し、地域や家庭と連携した教育活動を展開することで生徒が安心して登校できる環境づくりが求められる。	中学校や地域への情報発信と家庭や地域と連携した教育活動の推進	①中学校からの情報や担任・SCによる面談によって、生徒が抱える課題を把握し、SSWや地域機関と連携してその解決に取り組む。 ②地域の協力を得て、日本語を母語としない生徒への支援を実施する。	①長期欠席者の生徒数 ①保護者の学校理解度と満足度 ①②SSWや地域機関との連携状況 ③地域人材の活用状況			
3	<b>【現状】</b> 82%の生徒が学校行事や生徒会活動は楽しいと感じているものの、自分に満足している生徒は50%と学校生活の中で自己肯定感が高まっていない。 <b>【課題】</b> 学校行事や生徒会活動に目標を持って取り組ませることで達成感を味わわせ、自己肯定感を高めていくことが求められる。	意欲的に学校行事や生徒会活動に取り組む生徒の育成と自己肯定感の高揚	①担任による個別面談とスクールカウンセラーによる相談活動を通して、生徒が目的意識を持って学校生活を送れるよう支援していく。 ②生徒会役員を中心に、生徒の発想を生かした生徒会活動によって、生徒会行事を活性化させる。 ③4年間の見通しを持った進路指導で、卒業後の目標を持たせ、その達成を意識した学校生活を送らせる。	①自分に満足している生徒の割合 ②生徒会行事は楽しい、意欲的に参加しているという生徒の割合。 ②スクールカウンセラーの活用状況 ③卒業後の目標を持っている生徒の割合			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	